

表面汚染のイメージング:最表面成分の選択的な圧縮転写サンプリング

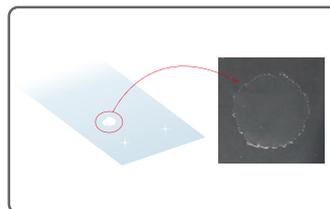
■ 測定の課題

異物やシミ、母材からの析出など、表面汚染の原因物質は最表面付近に局在することが多い。これらのサンプルは厚みがなく、薄切はもちろんサンプル採取自体が難しい。

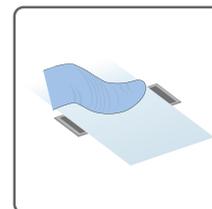
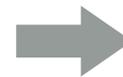
■ アプローチ

フィルム上の乾燥したシミをPoropare™に接触させ、指で適度に押し付けてサンプリングした。転写後のPoropare™は追加処理せず、質量分析イメージングを実施した。

■ 測定手順



フィルム上のシミを発見



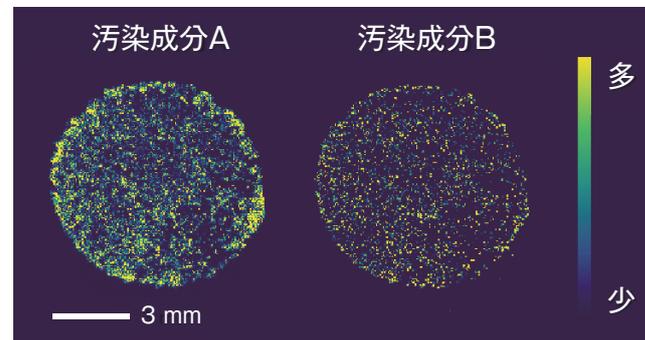
押し付けて転写!



そのまま装置へ!

Poropare™の活用結果

- シミと対応する分布を持つ成分の可視化
シミの形状と一致する汚染成分が2種類が見つかり、それぞれの局在が異なっている結果が得られた。
- 押しつけによる成分転写
分析対象が対象が乾いた状態でも、Poropare™上で圧縮転写することで測定できた。



※この資料の内容は、2025年5月現在のものです。仕様・性能は改良のため予告なく変更することがあります。

この製品について、ご意見・ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE www.hamamatsu.com

電子管事業部 〒438-0193 静岡県磐田市下神増314-5 ☎ (0539) 62-5245 ファックス (0539) 62-2205

問合せ先: 吉新 英朗 msi-t001@hpk.co.jp